

おすし

2024年12月
第756号

日本基督教団 平塚教会
発行人 平塚教会
編集人 中山洋司
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 〇四六三(32)八八三一



キリストの三職

平塚教会牧師 北川一明

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれました。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は「驚くべき指導者／力ある神／永遠の父／平和の君」と唱えられる。

(イザヤ九・5)

一月一日の合同礼拝の後、園児のためのブラジル音楽コンサートを行いました。バンドのみなさんが帰る時「牧師先生からひと言」ということになりました。謝意を表現するための牧師のツールは「祈禱」です。バンドのみなさんの演奏が「これから聞く人を幸せにするように」と祈りました。牧師に祈られるのは初めてだったようで「心が洗われた新鮮な気持ち」と言ってくださったのは必ずしもリップサービスだけではないだろうと思っています。

私が祈ることでバンドのみなさんが救われるわけで

はありません（「救われた」とは前世紀の教会用語で現代社会には通じなくなりました。「即物的なものではない真の幸せを得る」と言い換えられます）。バンドのみなさんが喜んでくれたのは祝福を祈られて幸せな気分を抱いたからです。しかしその感覚は持続しません。その時だけのものです。

祝福の祈りで幸せにさせられたのは祈った私の方です。自分の与えられた職務をしただけなのに相手は幸せな気分になってくれました。自信を得、自己肯定感を得、意欲が増しました。それはその場限りの気分では終わりません。牧師の職にある限り失われたい幸いです。人を祝福すると、相手のためになる以上に自分に祝福が返ってきます。

キリスト教の教義に「キリストの三職」というものがあります。「キリストは世に対して王、預言者、祭司の3つの役割を担っている」という考えです。世を支配し従わせるのが王の努め、人々に自身の罪を知らしめるのが預言者の務め、その罪人たちと神との間を取り持つのが祭司の務めです。

我々がままで勝手な人間は、王に支配されるのも

目次

キリストの三職

牧師 北川一明 …1

特集 教会学校韓国研修旅行記
金慕郷 二宮純子 教会学校生徒 …3

編集後祈

…8

預言者に小言を言われるのも厭です。福音書で祭司は悪役になっていたので良いイメージは持ちにくいのですが、我々人間がキリストに期待しているのはただ祭司の務めです。神さまから恵みをいただければ、余計な負担は負いたくありません。

それでも罪を理解しないまま執り成してもらっても赦しの意味が分かりません。預言者の務めで自分の罪を知らされて初めて人は神の恵みを知ります。神の恵みを知って神の王権に服した時、当人は幸せになり（救われ）ます。

冒頭の聖句はクリスマスの際に読まれるイザヤ書のキリスト予告です。キリストの王権が示唆されています。キリストは王（支配者）として世に來られました。ただし「みどりご（嬰兒）」とある通り、強権で暴力的に支配する王ではありません。嬰兒に対しては、誰も敵愾心を持ちません。世話をしよう、守ってあげようと思います。そうした人の優しさの元にある愛がキリストの支配原理です。

それなのにキリストさまは三職の務めをサボっているのでしょうか。今、紛争と環境破壊で人類が減びようとしているこ

とから、キリストは世を支配することを投げ出してしまったようにも思えます。

私たちは「御國が來ますように／御心が行われますように／天におけるように地上にも（マタイ六・10）」と主の祈りを祈ります。天上ではキリストの王権は確立しているのです。地上ではキリストご降誕の意味を知ったキリストの弟子たちが王権確立のために働きます。キリストさまが務めをサボっているわけではありません。弟子たちの働きがまだ不十分で完成していませんのです。

ところで「キリストの弟子」とは私たちクリスチャンのことです。牧師は教会の中で祭司、預言者、王の三職を務めます。信徒は世に出て行って、世に対して祭司、預言者、王の三職の務めを果たします。そうすることで地上でキリストの王国が確立します。

キリスト教の中でもカルト的な教派は社会の上に立って社会を従わせようとしています。王権を強権的なものと勘違いしているからです。神の言葉のうちの審きの部分を強調する預言者をして人を脅します。そして自分に従う従順なカルト・メンバーにだ

け祭司として祝福を告げます。

しかし健全なキリスト教会が目指すのは、愛の支配による、互いに仕え合う王国です。まともなキリスト教会も、現代社会の罪を糾弾する預言は得意です。罪を自覚しないと赦しも恵みも祝福も意味をなさないので預言者の務めも必要です。ただ「**赦しはあなたのもとにあり／人はあなたを畏れ敬うのです**（詩一三〇・4）」とある通り、赦されたことを感じた時に、私たちは自分の罪を認めることにも素直になれます。それは現代社会も同じですから、預言者の務めの前に祭司として執り成すことも大事です。

人を執り成そうとすれば自分に祝福が帰って来るのがキリスト教信仰です。バンドのみなさんのために祈ることで私は幸せを感じました。バンドのみなさんは、今後の演奏で聞き手を幸せにすることを目指し、普段の生活では隣人を幸せにすることを目指すようになれば、彼ら自身の幸せも永続的なものになります。

教会生活は人を愛し人に仕えることが結局は全てを良くすることを思い出させます。「驚くべき指導者」が來られたクリスマスを、喜びをもって祝いましょう。

特集 教会学校韓国研修旅行記

平塚教会が創立されて初めての海外研修旅行が、10月12日より三日間、教会学校生徒（中学生・高校生）の参加を得て韓国で行われました。

引率者と生徒の皆さんから、体験記と写真が広報担当に寄せられましたので紹介します。

★2023年のある日

引率 金慕郷

2023年のある日、教会員のある方から『教会学校の子ども達に海外旅行に行かせてあげたい。』という相談を受けた。

コロナの規制が緩くなり、海外へ行きやすくなったが、教会学校の子ども達に海外旅行とは、お金のことは置いて、今までなかったことを計画する大変さを分かっているのか？

悩んでも進まない！

「近場の韓国ならどうか」という話をし、「もし教会がこの案件を認めてもらえらなら手伝いますよ！」と返事をしてしまった。

今年の4月になって教会の伝道委員会からこの案件を進めるように話が来た。

教会が責任を持って行くからには、単純に遊ぶだけの海外旅行ではなく、教会に関わる何かがあるといいね！ということに

なったので、韓国の教会学校に参加する為にいろいろ尋ねてはみたが、今までに繋がり

のなかった日本の教会なことで、言葉の壁に当たった。

私の父が名誉牧師を務めていた東京の教会にも来ていただいたことがある、韓国内でも有名な「愛の教会」の担任牧師に話をしてみたが、コロナ前のような日本と韓国間の教会交流会は難しいと返事が来た。

「じゃあ、韓国の大きい教会を見せてあげよう！」

いろんな教会の名前が挙がったが、日本語の同時通訳があるところはほとんどなかったの、結局は「愛の教会」に決まった。

礼拝を見て感じてもらうしかない！

5月5日、教会学校の中学生と教会学校を卒業した高校生の四人に案内が回った。5月19日の日曜の礼拝後に説明をし、四人全員の参加を確認した。問題は日程とパ

スポート！！

みんなにパスポートを準備することをお願いした後は、飛行機とホテルの予約などの問題があったが、それはとても強い味方、北川牧師のお嬢様の祈愛さんにも願いました。

日にちが決まり、パスポートの問題も何とかなった。

残念なのは四人の中の一人に事情があり参加をキャンセルした。

9月15日の礼拝後、教会で昼ご飯を食べながら日程の確認や韓国でやりたいこと、食べたいものの意見交換をした。

待ちに待った韓国訪問当日、教会に寄ってお祈りをし、駅に向かった。このとき北川先生に声をかければ良かったと後悔した。8時ちょうどにみんなが集まり、見送りをお願いした北川牧師を10分待ったが来ない。電話が繋がったとき、電車は既に馬入橋を越えていた。

初めての海外、ワクワクしながら羽田空港の中を周る。出国審査を通り、少し長い待ち時間、何でもいいよと言ったのに、どこでも食べられそうなたこ焼きや焼きそばなどで昼ご飯を済ませる。



多分!

あ、飛行機乗るの?



インスタの流行り風に、
出発だ!!!



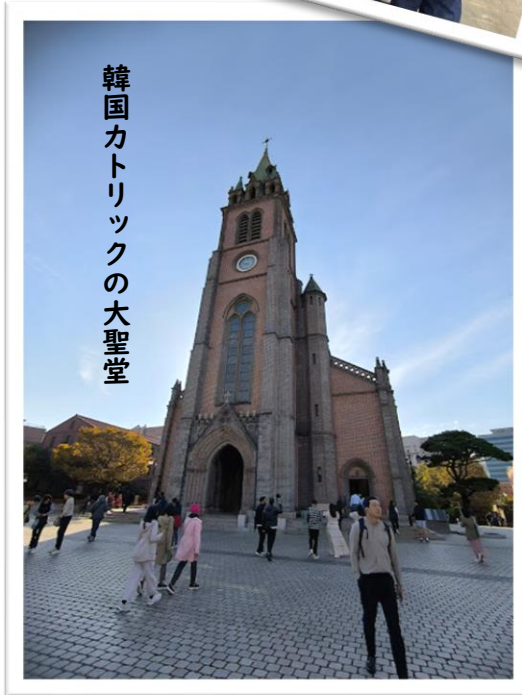
韓国の地下鉄、
地下6階から地上へ



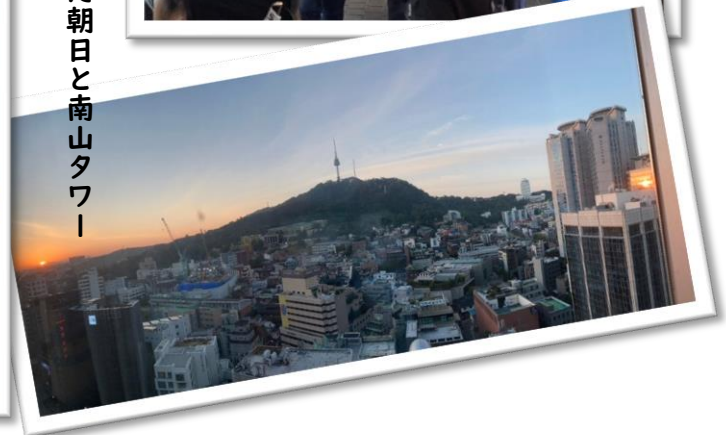
ご飯はどこで食べる?



明洞の夜風景



韓国カトリックの大聖堂



部屋で見た朝日と南山タワー

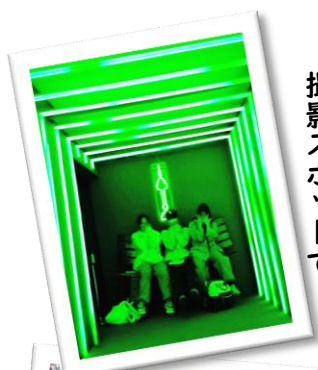


景福宮に入りますよ〜
😊😊

外で見た愛の教会、
どこが礼拝堂？



大きくて全体が
見えない礼拝堂中



南山タワーの
撮影スポットで



南山タワー、決まりのアングル



200枚以上の写真から(≡▽≡)

飛行機に乗り込み、機内食もおいしく、頂く。若いつていいな。

小さな金浦空港に。10分間隔で4台の大きい飛行機が到着したせいで、入国審査は1時間もかかった。

私が前回ソウルに来たのは15年前なので、ある意味初めてと変わらない！？

相変わらずソウルは騒がしくて乾燥してる。自動車は大きくて多い。電車の高さが日本より高いってことは身長のせいかな。建物は整頓されてなくて個性的、道は凸凹。

ホテルはソウルの繁華街、明洞のご真ん中、周りは大阪を感じさせる騒がしさ。人や店の間を早いスピードで通り過ぎる強心臓な車。

夕飯にカルビを食べた後、疲れ切った足をひきずりながら、明洞の町中を歩き回る。お腹一杯食べたはずなのに、ホテルで食べるチキンをテイクアウトして帰る途中にアイスも手にする。

ホテルのお部屋はソウルのシンボル、南山タワーが綺麗に見えてとても良かった。朝日が昇るのも見えて、遠くに世界五番目の高さといわれる123階建のソウルスカイも見えた。

次の日の朝、ホテルでご飯を食べて教会に行くまでの空いた時間、スタバの飲み物を手にし、韓国カトリック教会の明洞大聖堂や市民マラソン大会を見ながら夜とは全然違う明洞の町を味わう。

愛の教会は、外からではその大きさが分からない。メイン礼拝堂がある地下四階を目指し降りていく。同時通訳機を受け取り、中に入るとその大きさがやっとわかる。大きいと聞いていたけど本当に大きい。

一度に500人が入れるという礼拝堂は担任牧師の礼拝を四回行っており、他の礼拝も行われている。英語や日本語、中国語の礼拝も別途行われる。

翌日から行われる一週間の特別朝集会の為に牧師は断食をしており、体調を考慮して、10時に行った説教の映像を流していたことが少し残念だったが、教会が大きいのもともと牧師の説教は、大きいスクリーンで見るとそんなに違和感がなかった。久しぶりに熱のこもった韓国の説教や聖歌隊の素晴らしい讚美歌を聞けて私は大満足した。

次は景福宮で韓服体験。三人とも少し落ち着いた色の服を選んで着付けをし、可愛くヘアをセットしてもらった。

三人の姿がかわいいー！！！ 写真を撮りまくる。

夕飯は韓国と言ったらサムギョプサル！また食べ過ぎてしまった。

最終日の朝ごはんの後は、ホテルをチェックアウトし、ケーブルカーに乗ってホテルの窓から見えていた南山タワーに登った。坂を自動で登ってくれるオルミというものに乗る予定が、月曜は運行中止ということで坂道を自分たちの足で登る。少し曇りのソウルの景色を高いところから見下ろして、頂上を一回り。

じゃあ、家に帰ろう。

同じ道順なのになぜか長く感じるのは疲れのせいかな。

飛行機は40分も遅れて羽田に到着した。羽田空港で夕飯を食べる予定だったが、17時に機内食を食べたのもあり、着いたらそのまま家路に急いだ。

20時50分ようやく平塚に到着し、家に帰る。疲れたが、怪我もなく大きな事件もなく無事に帰ってきたことがとてもうれしい。

大 韓国研修旅行

引率 二宮純子

令和6年10月12日から三日間の予定で中・高生三人、引率二人で韓国への礼拝参加・文化体験の旅に出掛けました。

天候にも恵まれ、途中これといった事故も無く、予定通りに行事を遂行し、無事に平塚の地に戻る事が出来ました。

皆様のお祈り、お支えを感謝致します。

10月12日朝8時に平塚駅に集合し、羽田12時30分発の大韓航空機で金浦空港へ向かいました。金浦空港では、同時間に四機飛行機が到着した為、入国手続きに時間が掛かり、ホテルに着いたのは17時をまわっていました。ところが流石に子ども達は元気で、明洞の有名焼肉店へ直ぐに出発し、美味しい焼肉を沢山いただきました。ついでに辛い冷麺も。サンチョに包んで様々な薬味と一緒にいただく食べ方にも直ぐ慣れ、その後明洞の街を散策し、屋台を冷かして歩きました。街は土曜の夜でもあり、様々な人種の人たちでごった返していました。

13日は、ホテルでバイキングの後、地下鉄で市内の礼拝堂に行きました。地下四階建ての礼拝堂でしたが、国民の三分の一がクリスチャンというお国柄だけあり、地下二階、三階と人が沢山で百人単位ではなく、

千人を超えているように見えました。そんな礼拝堂で四回礼拝が行われ、二カ国語対応でした。私達は三回目の英語と日本語対応に出席しました。

牧師先生は一週間断食をされているそう、10月27日の二百万集会に向けて準備をされているということで、ただただ圧倒されました。子ども達も、イヤホンで説教を聞きながら礼拝を守ることが出来ました。

地上一階は本屋さんで、色々な本や、文具が並んでいました。

午後は、慶福宮でチマチョゴリ体験をしました。子ども達はノリノリで楽しんでいました。

夜は、昨晚とは違う焼肉屋さんで夕食を取りました。その後、子ども達は街歩きを楽しんでいたようですが、私はホテルで休息していました。

14日は、ホテルの窓からも見える南山タワーへ行きました。階段を登り、その後ケーブルカーで行きましたが、私はヘトヘトで、金さんに大変お世話になりました。

その後、金浦空港へ、空港で冷麺を食べ、お土産を買って帰国の途へ。機内食も美味しく、窓から見える夜の街も美しく、短い

時間でしたが、飛行時間を楽しみました。食べては歩き、地下鉄に乗って移動という旅でしたが、ホテルの受付から、食事の注文、チケットの購入等々、全て金さんのお陰で迷う事もなく、終わることが出来ました。

金さんが居なければ、この韓国旅行の旅は成し遂げることは出来ませんでした。

子ども達も旅行を満喫して楽しそうでしたが、多感な時期に韓国を訪問して、異国の文化に触れ、礼拝に出席した事が、良い思い出として記憶に残ってくれる様、願っています。

生徒達の体験記

T・U

飛行機にそもそも初めて乗ったので、まず、そこがとてもいい経験になりました。韓国で印象に残ったことは沢山あります。

一つ目は、韓国では日本と違い焼肉を食べる時に焼肉のタレではなく、塩をよく使っていたことです。塩で肉はあまり食べたことがなかったですが、とても美味しかったのでまた食べたいです。他にも韓国のりを本場ではあまりお店などでは食べないということに驚きました。

そして、やはり本場であることもあって、キムチやラーメンなどがとても辛かったです。そんな中で、私が一番好きになった韓国料理は、冷麺です。素麺みたいな感覚ですが、日本よりもシンプルで、辛さが落ち着くような美味しさがあって、とても好きになりました!!

二つ目は、チマチヨゴリを着たことです。チマチヨゴリは、日本の着物とはまた違った華やかさがあり、着物とドレスを掛け合わせたような感じで新鮮で楽しかったです。

三つ目は、夜になると屋台が多いということ。朝だと人通りが少ないような場所でも、夜になると一気に人が集まって、まるで七夕のような、お祭りに来たような感覚になりました。その中で買ったチキンは、すっごく美味しかったです!!

四つ目は、韓国の教会がとても大きかったことです。教会と聞くと、屋根がとんがっていて、ベルがあるようなイメージだったのですが、実際に行った韓国の教会では、ビルのような大きな建物でした。

さらに、音楽も盛大で迫力があり、文を読むことが出来なかったので歌えませんでした。感動しました。

他にも街中では、K-POPが流れていた。K-POPアイドルがモデルの表紙を飾っていたりと、日本ではモデルさんや俳優さんがやるようなことも。K-POPアイドルなどが行っていたので、とても面白かったです。

このような日本とは違う文化などを学べて、とってもいい経験になりました!

M・N.

初めて行った韓国は、日本とは比べ物にならないぐらい建物が大きかったり、外国人が多くてびっくりしました。

韓国では、チマチヨゴリを着たり、美味しいご飯をいっぱい食べました!

チマチヨゴリを着たら、自分も昔にタイムスリップしたみたいに感じてとても楽しかったです。

韓国は、思っていた以上に日本語が通じびっくりしました。

美味しいご飯もたくさん食べて、いろんな所にも行けて、綺麗な景色も見れて楽しい韓国旅行でした。

T・I

韓国は、流行と独自の文化が融合したと

ても面白く、見ていて楽しい場所でした。私たちが訪れた明洞は、多くの外国人観光客で溢れ、現代の韓国の流行を象徴するK-POPや美容商品、屋台の食べ物などが一度に体験でき、日本にはない独特な雰囲気印象的で楽しかったです。

また、チマチヨゴリの体験では、明洞の時と比べ、一つ昔の韓国の文化を知ることができました。日本の着物と欧米のドレスが合わさったような服装は、韓国人だけでなく、他文化の人にも受け入れやすい文化の一つではないのかと思いました。

この韓国訪問は、新しい体験と感性を養えたとても素晴らしい2泊3日でした。この体験を今後にも役立てていけるようにしていきたいと思っています。

【編集後祈】

墓前祈禱会・西地区信徒研修会・幼稚園100周年記念ミニコンサート・大人と子どもの合同礼拝と様々なことが、主の恵みのうちに行われました。ロシアのウクライナ侵攻に北朝鮮が参戦の報、キリストの平和がウクライナにもと祈る日々です。

(編集子)